

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション(実態把握)	1	今年度の音楽の目標や流れを理解し、提示された設問に対して、言語や音楽表現を用いて表現しよう。			○提示された課題に対して主体的に取り組もうとしている。
歌唱「浜辺の歌」	3	8分の6拍子を感じ、旋律の流れや情景を感受して、音楽表現をしよう。	○8分の6拍子の拍子感を持って、歌詞の内容や曲想を生かした、基礎的な歌唱表現の技能を身に付けている。	○旋律の流れ、テクスチュア、歌詞のまとまりと言葉の区切り、形式を知覚し、それらが生み出す雰囲気や情景を意識して、音楽表現ができています。	○音楽の流れや歌詞の意味を捉えて、音楽表現をしようとしている。
鑑賞「小フーガ」	2	パイプオルガンの基本的な構造を理解し、音楽の構成や特徴と結び付けて、鑑賞しよう。	○パイプオルガンの楽器の特徴を理解し、様々な音色を奏でることができることを理解し、鑑賞ができています。	○「フーガ」の特徴を知覚し、リズムや旋律、音の重なりの変化を感じ取ることができている。	○楽曲や楽器に関心を持ち、バロック音楽の特徴を感じて鑑賞しようとしている。
アルトリコーダー	6	アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付けよう。	○リコーダーの基本的な構造を知り、タンギング等の表現につながる知識や基本的な技能を身に付けている。	○音色や息の流れを考えて表現を工夫している。	○主体的に取り組む、苦手な部分のくり返し練習などに取り組んでいる。
コンピューターと音楽(創作)	1	音楽ソフト(アプリ)を用いて、リズムを作成しよう。	○音楽を制作するソフト(アプリ)の使い方や、それらを用いたリズム作成の仕方を理解している。	○課題に沿ったリズム考え、ソフトを用いて創作表現ができる。音色や楽器の工夫ができる。	○創作表現にかかわる知識を生かし、意欲的に創作に取り組むことができています。
合唱コンクール課題曲	3	合唱の基本的な技能を身に付け、自分たちの音楽を作るための基本的な知識を身に付けよう。	○旋律感や音程感、リズムの関連などを表現する基礎的な歌唱技能を身に付け、聞く人を意識した表現ができています。	○強弱変化、テクスチュアの理解、歌詞の内容と曲の展開を知覚し、曲の持つ思いや情景、雰囲気を感じ取り、自分なりに工夫をして音楽表現をしようとしている。	○各パートの役割を理解し、それに必要な技能や知識を得ようとしながら、合唱表現に取り組んでいる。
鑑賞「雅楽 管絃・舞楽」	2	雅楽の音楽的特徴を、雅楽が生まれた時代背景と重ねながら理解し、鑑賞しよう。	○雅楽に用いられる楽器の種類や舞楽の種類を理解、雅楽が生まれた時代背景を捉えて鑑賞ができています。	○合奏の際の音の重なりによる響きや、それぞれの楽器が奏でるリズムの特徴を、唱歌を用いるなどして知覚している。	○雅楽に使われる楽器や音楽的特徴に興味を持ち、鑑賞しようとしている。
合唱コンクール自由曲	3	合唱の基本的な技能を身に付け、自分たちで工夫して音楽を作るための基本的な知識を身に付けよう。	○旋律感や音程感、リズムの関連などを表現する基礎的な歌唱技能を身に付け、音楽的構造を意識した表現ができています。	○強弱変化、テクスチュアの理解、歌詞の内容と曲の展開や形式を知覚し、曲の持つ思いや情景、雰囲気を感じ取り、自分なりに工夫をして音楽表現をしようとしている。	○各パートの役割を理解し、それに必要な技能や知識を得ようとしながら、合唱表現に取り組んでいる。
合唱まとめ(リハーサル・合唱コンクールを含む)	3	学習したことや自分たちの考えを合唱に生かして、クラスで協力して合唱表現をしよう。	○旋律感や音程感、各声部の役割、言葉とリズムの関連などの基礎的な表現の技能を身に付け、パートの役割を生かした一体感のある歌唱表現ができています。	○前単元の知識や技能を生かし、自ら考え、それを具現化するために、創造的に音楽表現をしようとしている。	○音楽的表現、曲の理解、パートの役割を感じて、意欲的に合唱表現に取り組んでいる。
鑑賞「能 羽衣」	2	能の音楽的特徴や演技の特徴を知り、能が生まれた時代背景と重ねながら鑑賞しよう。	○能に用いられる楽器の種類を、既習事項と結び付けながら理解し、能が生まれた時代背景を捉えて鑑賞ができています。	○謡のリズムや楽器の音色の特徴を知覚し、自分なりに解釈して言葉で表現ができています。	○能に使われる楽器や音楽的特徴に興味を持ち、鑑賞しようとしている。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

世界の音楽とリズム「ボレロ」	1	音楽的特徴(作曲の技法、管弦楽法)を感じ取り、各楽器の音色の重なりに注目し鑑賞しよう。	○作者についての知識から、音楽的背景を考え、曲の中での楽器の使い方を理解し、鑑賞ができています。世界の音楽のリズムに関心をもち、リズム打ちができる。	○聴覚からの感受とテクスチャなどから音楽的特徴を捉えて、鑑賞ができています。	○楽曲・作者への関心や興味をもつとともに、音楽的な特徴を感じようと、学習した知識を生かして鑑賞ができています。
鑑賞教室事前学習	2	音楽的特徴(作曲の技法、管弦楽法)を感じ取り、楽器の扱い方に注目して鑑賞しよう。	○作者についての知識から、音楽的背景を考え、曲の中での楽器の使い方を理解し、鑑賞ができています。	○聴覚からの感受とテクスチャなどから音楽的特徴を捉えて、鑑賞ができています。	○楽曲・作者への関心や興味をもつとともに、音楽的な特徴を感じようと、学習した知識を生かして鑑賞ができています。
鑑賞「交響曲第5番」	2	音楽的構造から生み出される美しさを感じて、鑑賞しよう。	○オーケストラの楽器の特徴や、ソナタ形式の理解、作者や作曲された時代の背景を捉えて鑑賞ができています。	○テクスチャの分析から得られる音楽的構造を言語化し、自分なりに解釈しながら鑑賞している。	○楽曲や作曲家への関心を持ち、学習した知識を生かして鑑賞しようとしている。
卒業式の歌	3	自分たちの思いを歌にのせて表現しよう。	○表現しようとしている音楽に対して、それを具現化する技能を身に付け、聞く人を意識した表現ができています。	○強弱、テクスチャ、言葉の区切り、休符の役割、形式を知覚し知識や技術を生かして音楽表現をしようとしている。	○音楽的表現、曲の理解、パートの役割を感じて、意欲的に合唱表現に取り組んでいる。
創作	1	リズムの抑揚を生かした旋律を作ろう。	○音素材の特徴や音の重なり、反復や変化などの、課題に沿った音やリズムの選択方法を理解している。	○創作表現に関わる知識を生かし、創作表現を工夫して作成ができる。	○創作表現に関わる知識を生かし、意欲的に創作に取り組むことができています。